


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成 25 年 2 月 / 日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

| | | | |
|---|------------------------|----------------|---|
| プロジェクト名 | | | |
| 新江州パッケージ株式会社日野事業所における、照明設備高効率化による CO2 排出量削減プロジェクト | | | |
| 【依頼者】 プロジェクト代表事業者 | | | |
| 事業者名(フリガナ) | オリックス株式会社 | |  |
| 住所 | 東京都港区浜松町二丁目 4 番 1 号 | | |
| 代表者氏名 | 井上 亮 | 代表者役職 | 代表執行役 |
| 担当者氏名 | 内田 太郎 | 担当者 所属部署・役職 | 環境エネルギー部 |
| 担当者 E-mail | Taro_uchida@orix.co.jp | 担当者電話番号 | 03-5418-4636 |
| プロジェクト事業者・プロジェクト参加者 | | | |
| プロジェクト事業者名 | 新江州パッケージ株式会社 | | |
| プロジェクト参加者名 | | | |
| オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 | | | |
| 事業者名(フリガナ) | 新江州パッケージ株式会社 | | |
| 妥当性確認・検証機関 | | | |
| 妥当性確認機関名 | テュフ ラインランド ジャパン株式会社 | | |
| 検証機関名 | SGS ジャパン株式会社 | | |

| プロジェクト情報 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|-------------------------------------|-------|-----|--|-----|--|-------|-------|-------|-------|----------------------|----|---------------------------------|-----|----------------------|---|-------------------------------------|---|
| プロジェクト登録番号 (4ケタ) | 0131 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プロジェクト登録日 | 平成 23 年 6 月 30 日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| プロジェクト概要 ¹ | <p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>○目的: 高効率照明設備の導入によるCO2排出量の削減</p> <p>○内容: 新江州パッケージ株式会社/日野事業所において Hf 蛍光灯を導入することにより、これまで使用していた水銀灯を代替し、電力消費量を削減し、CO2排出量を削減した。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <p>条件 1. 既存の照明設備の更新であること</p> <p>(添付: 既設仕様書、新設仕様書)</p> <p><実施前後の照明設備状況></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施前</th> <th colspan="2">実施後</th> </tr> <tr> <th>照明タイプ</th> <th>個数(個)</th> <th>照明タイプ</th> <th>個数(個)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水銀灯 700W (HF700X)</td> <td>97</td> <td>4 灯用 Hf 蛍光灯 172W (FSA44500A)</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>水銀灯 400W (HF400X)</td> <td>7</td> <td>2 灯用 Hf 蛍光灯 88W (FSA42219F VPH9)</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>条件 2. 導入する設備は、代替する設備より高効率であること</p> <p>(添付: 既設仕様書、新設仕様書)</p> <p>既設照明の出力の和は、</p> <p>$(700W \times 97 \text{ 個} + 400W \times 7 \text{ 個}) \div 1000 = 70.7kW$</p> <p>新設照明の出力の和は、</p> <p>$(172W \times 211 \text{ 個} + 88W \times 8 \text{ 個}) \div 1000 = 37.0kW$</p> <p>削減量は $70.7kW - 37.0kW = 33.7kW$</p> <p>と、およそ 47%の削減ができており、高効率である。</p> <p>条件 3. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと(添付: 見積書、既設仕様書、新設仕様書、電気料金請求書)</p> | | | 実施前 | | 実施後 | | 照明タイプ | 個数(個) | 照明タイプ | 個数(個) | 水銀灯 700W (HF700X) | 97 | 4 灯用 Hf 蛍光灯 172W (FSA44500A) | 211 | 水銀灯 400W (HF400X) | 7 | 2 灯用 Hf 蛍光灯 88W (FSA42219F VPH9) | 8 |
| | 実施前 | | 実施後 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 照明タイプ | 個数(個) | 照明タイプ | 個数(個) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水銀灯 700W (HF700X) | 97 | 4 灯用 Hf 蛍光灯 172W (FSA44500A) | 211 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水銀灯 400W (HF400X) | 7 | 2 灯用 Hf 蛍光灯 88W (FSA42219F VPH9) | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | |

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関することを3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

(1)設備投資の状況

・今回の設備投資額は 8,814,000 円が予定されている。内訳としては、Hf 蛍光灯 FHF32W×4 灯用 2,954,000(単価 14,000 円×211 個)、Hf 蛍光灯反射笠型 32W×2 灯用 28,000 円(単価 3,500 円×8 個)、設置工事費 5,832,000 円である。

・設備補助 1/3 を取得した場合には(ただし、補助対象外として撤去費 633,000 円を控除)、実質投資額 6,087,000 円となる。

・なお、取り外した水銀灯は廃却予定であり、転売は行わない。

(2)エネルギーコストの状況

・既存の水銀灯の年間使用電力量は、144,481kWh/年({730W(700W)×97 個+415W(400W)×7 個} × 操業時間 1,960 時間/年(245 日×8 時間))である。また、新設の Hf 蛍光灯の年間使用電力量は、72,512kWh/年({172W×211 個+88W×8 個} × 操業時間 1,960 時間/年)である。

・差し引きの電力コストダウンは、年間で 791,659 円(11 円/kWh)であると想定される

(3)投資回収年数

・設備補助を除いた実質投資額 6,087,000 円に対して、年間コストダウン額 791,659 円であるため、投資回収年数は、下記の通りであり3年を超える。

$$\text{実質投資額 } 6,087,000 \text{ 円} \div \text{年間コストダウン額 } 791,659 \text{ 円} = 7.7 \text{ 年}$$

投資回収期間が 3 年を超えており、事業採算性は低いといえる。

【法令遵守状況】

| | | 該当しない | 該当する |
|---|------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1 | 大気汚染防止法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 2 | 水質汚濁防止法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 3 | 騒音規制法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 4 | 振動規制法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 5 | 景観法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 6 | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 7 | 環境影響評価法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 8 | 建築基準法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |
| 9 | 消防法 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 具体的に: |

【採用技術】

照明設備の更新

【モニタリング方法】

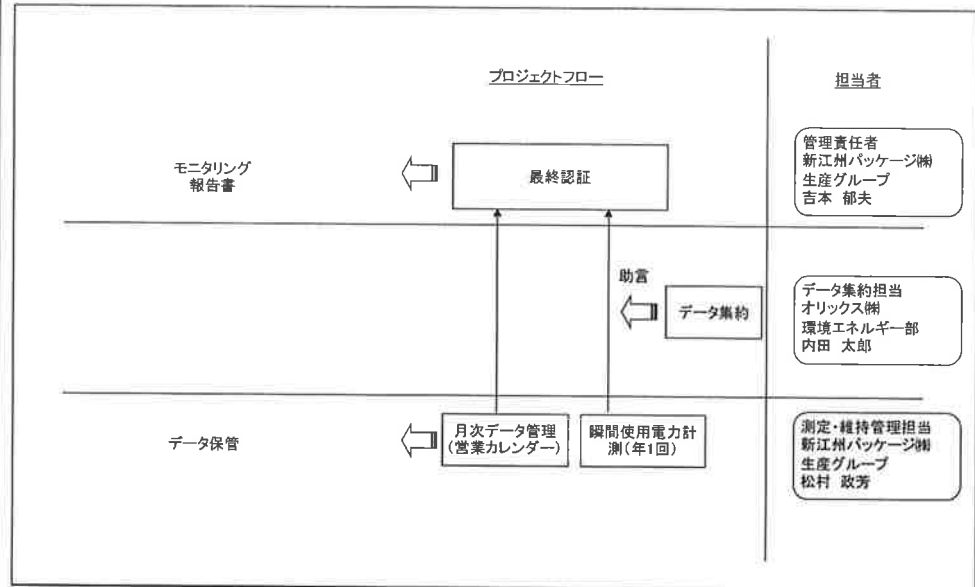
実測

【GHG 算定式の方法論への準拠性】

| 該当する | 準拠の説明 | 説明 |
|--------------------------|---------|----|
| <input type="checkbox"/> | 全く準拠しない | |

| | | |
|-------------------------------------|---------|--|
| <input type="checkbox"/> | 一部準拠しない | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 全て準拠する | |

【モニタリング体制】



【QA / QC 体制】

(1) 教育訓練

モニタリングに必要となる日々の営業カレンダーの確認、また、瞬間使用電力を測るための計測器の使用法を周知させた。(2010年11月10日)

(2) 情報の保管

データ(営業カレンダー)は測定・維持管理堪能職員が記録する。記録データは本プロジェクト管理責任者に報告し、PCにて保管した。また、プロジェクト管理責任者の指示に従い、プロジェクト実施状況を記録するための写真を保存した。

第1回: 2011年1月20日

第2回: 2012年12月5日

(3) データの確認

データ確認は、測定・維持管理担当職員が行う。定期的に営業カレンダーをチェックし、照明設備の稼働時間を把握する。

第1回: 2011年3月15日

第2回: 2012年12月6日

(4) 内部監査

2011年12月20日: 瞬間消費電力の測定が、問題なく行われているかを確認した。

2012年12月5日: 瞬間消費電力の測定が、問題なく行われているかを確認した。

| | | | | | | | |
|-------------------------|-------|--|-------------------------|------|------|------|----|
| | | (測定状況については別紙参照) (5)測定機器の維持・管理 測定器使用時に、設備の仕様の確認を行う。 第 1 回： 2011 年 12 月 20 日 第 2 回： 2012 年 12 月 5 日 (その他特筆すべき事項) | | | | | |
| モニタリング結果概要 ² | | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。 (その他特筆すべき事項) | | | | | |
| 適用モニタリング方法 ガイドライン | | オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (_____ プロジェクト用) ver. _____ | | | | | |
| 適用方法論 | | 方法論番号 | JEAM 010 ver. 2.0 _____ | | | | |
| | | 方法論名称 | 照明設備の更新 | | | | |
| モニタリング結果 | | | | | | | |
| モニタリング期間 | | 2011年 1月 4日～ 2012年11月30日 | | | | | |
| <方法論R001・R002・R003のみ> | | | | | | | |
| モニタリング対象面積 | | | | | | | |
| 排出削減・ 吸収量 | 年度 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 合計 |
| | t-CO2 | | | | 13 | 5 | 18 |
| 認証依頼削減・吸収量 | | 18 t-CO2 ³ | | | | | |

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

³ 合計の値から小数点以下を切り捨て、トン単位で記載してください。

| ダブルカウントの防止の措置 | |
|----------------------|--|
| ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者 | <p>【ダブルカウント防止措置を講ずる事業者名】</p> 事業者名： <u>オリックス株式会社</u> |
| ダブルカウントの防止措置内容 | <p>以下、該当する場合は、□に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。 (オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p>【①類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の類似制度(「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法を含む)に申請しています</p> <p> 類似制度名： _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p> 理由： _____</p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p><input type="checkbox"/> 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要がある。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）を明記します。</p> <p>あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ ホームページ URL: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 出版物（環境報告書/定期刊行物）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策）の策定義務対象者（都道府県）である。</p> <p><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。 制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他社に譲渡していないもの）は除きます。</p> |
|--|---|

| ダブルカウント防止措置責任者（プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要） | | | |
|--|--|----------------|---|
| 事業者名 | | | 印 |
| 住所 | | | |
| 代表者氏名 | | 代表者役職 | |
| 担当者氏名 | | 担当者 所属部署・役職 | |
| 担当者 E-mail | | 担当者電話番号 | |
| 備考欄 | | | |
| | | | |

以 上